

平成29年度第4回西仙北地域協議会会議録

平成29年9月14日

西仙北地域協議会

平成29年度第4回西仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 西仙北地域協議会の取り組みについて	
■閉会	7
■署名	8

■日 時：平成29年9月14日（木）10時00分から

■会 場：大仙市役所西仙北庁舎3階会議室

■出席委員：10名

池田裕毅委員	金啓一委員	嗟峨幸恵委員	佐々木孝太郎委員
佐々木好美委員	信田徹委員	田口繁委員	豊巻一男委員
藤林笑委員	武藤義治委員		

■欠席委員：7名

加藤真委員	斎藤幸雄委員	佐藤主憲委員	進藤巖委員
俵谷武雄委員	堀江公子委員	吉田範子委員	

■出席職員：5名

佐々木繁隆（西仙北支所長）	鈴木 吉信（市民サービス課長）
小山田幸哉（西仙北中央公民館長）	新田 雅昭（地域活性化推進室副主幹）
佐藤 剛（地域活性化推進室主査）	

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名（信田徹、田口繁委員）
- 5 協 議
(1) 西仙北地域協議会としての取り組みについて
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

(10時00分 開会)

○小山田館長（以下「館長」と表記）

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ご案内しました時刻になりましたので、ただ今から平成 29 年度第 4 回西仙北地域協議会を開会いたします。はじめに、西仙北地域協議会佐々木会長よりごあいさつ申し上げます。

○佐々木西仙北地域協議会会長（以下「会長」と表記）

本日の第4回西仙北地域協議会の開催にあたり、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

7月、8月には大仙市を襲った豪雨災害、そして最近では神宮寺を中心とした震度5強の地震ということで集中して天災に見舞われております。また、台風18号が日本を縦断するという予報になっております。大きな災害にならなければと切に願っております。今回は第4回目ということで、本日のメインテーマであります「西仙北地域協議会としての取り組みについて」皆様からご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○館長

ありがとうございました。続きまして佐々木支所長よりごあいさつをお願いします。

○佐々木支所長（以下「支所長」と表記）

本日はお忙しいところ、「第4回西仙北地域協議会」にご出席いただきまして、ありがとうございます。

8月23日の協議会において、7月の豪雨災害についてお話しさせていただきましたが、その翌日からまたしても局地的大雨に見舞われました。

西仙北地域は、大沢郷地区で床下浸水2件の被害がありましたが、大仙市としては大曲の花火が開催が危ぶまれるほどの雄物川河川敷が増水し、夜を徹して復旧に当たり、どうにか開催できる運びとなりほっとしたところでありました。

しかし、つかの間の今月8日午後10時23分、神岡を震源とする地震では、多くの皆さんが不安の一夜を過ごしたものと思います。

震度5強の神岡地域では、温泉施設や学校、住家被害も確認され、西仙北地域では震度4で市道法面からの土砂崩落や店舗の壁や事業所の天井が落下するなどの報告はありましたが、人的被害は報告されておられません。

昨日も震度1.2の地震が12回起きておりますし、この後も、台風の進路によっては、さらなる警戒が必要となってきております。どうぞ皆様に置かれましても、災害に備えていただきたいと思っております。

本日は、冒頭の会長挨拶の通り、協議会として何ができるか活発な意見が出されますことを期待しまして、挨拶といたします。

○館長

ありがとうございました。このあとの進行については「大仙市地域自治区の設置等に関する条例」第8条第4項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、よろしくをお願いします。

○会長

それでは、会議を始めます。今日の出席委員は、17名中10名で、2分の1以上出席しておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次第の4、会議録署名委員を指名します。会議録署名委員には、信田徹委員、田口繁委員をお願いします。

それでは次第の5、議題(1)「西仙北地域協議会としての取り組みについて」ご協議をいただきたいと思います。前回までご協議いただきましたことをまとめて事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【これまでの経緯、前回出された意見を集約し説明】

(1) 第1回西仙北地域協議会（平成29年5月10日開催）

協議会の中で、「これまでの協議が地域枠予算の審議に費やす時間が多いことから、委員個々の意見を述べる時間が少ない」という意見があった。

(2) 第2回同地域協議会（同年6月21日開催）

第1回地域協議会の意見を踏まえ、地域枠予算の審議の進め方を簡略化し、委員個々が意見を発言できる「自由討論」の時間を設定。

・各委員が感じていること、考えていることなどを発表した。

（地域課題、地域活性化案、目指す地域像など）

(3) 第3回同地域協議会（同年8月23日開催）

第2回地域協議会の意見を4つに分類し、地域協議会としてできることについて取捨選択を行った。

- ・高齢者が楽しめるイベントの実施
- ・高齢化により事業の実施が困難
- ・HUBスペースの活動を協議会で支援
- ・地域イベントへの協力支援（参加の呼びかけ等）
- ・イベントへの人集めの方法を検討
- ・社会福祉協議会との連携（ゴミカレンダー等）
- ・自治会の要望活動への市の協力

○会長

これまでの経緯等について事務局から説明いただきました。前回出された意見を更に絞り込んでいきたいと思しますので、皆さんから意見をいただきたいと思います。それでは、池田委員より順番にお願いしたいと思います。

○池田委員

前回からイベントの充実というご意見が多いようですが、果たしてイベントの開催だけで地域が元気になるかというのは疑問です。イベントに頼るのではなく、地域を育てるといふか人を育てるといふのが大事であると思います。現在行っているイベント充実させるより、まずは地域を知ることが始めにやるべきことではないかと思います。地域内でどのようなことが行われていて、どのような人がいるかということをおと半年かけて調べて次年度に繋げていくということが大事ではないかと思います。

○金委員

先程池田さんが言われたとおりだと思います。私は青少年育成の方に関わっておりますが、小学校・中学校の訪問や朝の声かけ運動を行っております。具体的にどのようなことをしていけばいいかということとは言えませんが、地域の高齢者と子どもたちがふれあいを持てるような機会がもっとあればいいのではないかと思います。

○嗟峨委員

イベントへの人集めの方法ですが、私が住んでいる土川地区でも様々なイベントが行われております。先日行われました夏のイベントですが例年に比べますと参加者が少ないようにおもいました。毎回参加する人が同じで、せっかくイベントをやるのであればもっとお客さんに来ていただきたいと思います。ですので、その人集め方法を皆さんで検討していければと思いました。

○佐々木好美委員

先程池田さんがおっしゃった人を育てる取り組みということは、非常に大事であると感じます。ただ、地域協議会で関わっていくとなれば、イベントに参加してみるということが大事だと思います。地域で行われているイベント、事業はたくさんあると思しますので、それに委員として積極的に参加し、関わるということが必要だと思います。

○信田委員

イベントへの関わりということですが、主催者の自主性を損なわないようにしていかなければならないと思います。そして、そのイベントへの関わり方ということが今ひとつ理解できません。

それから、イベントへの人集めについてですが、私の町内会で高齢者を対象とした事業が行われていますが、一昔前は子どもたちとふれあえるような、三世代交流ができる事業を盛

んに行っていました。現在子どもを参加させるとなると、様々な調整が必要になってきます。例えば高齢者と一緒にグランドゴルフをやるとなると、4月の早い段階で、学校やスポ少と日程調整を行わなければなりません。ですから、来年度からそのような事業をやるとなると早い段階から調整が必要になってくると思います。

○田口委員

7月、8月の豪雨災害で農家がかなりの被害を受けました。また、住家も床上、床下浸水ということでこれもまたかなりの軒数が被害を受けております。その時に苦労したのが安否確認でした。自治会内でその連絡方法ですとか確認をしていけばよかったですのですが、それが確立されていなかったのも、そのことも検討していかなければならないと思いました。

○豊巻委員

前回の協議会で消防団員の確保ということをお願いさせていただきました。地域協議会では難しいのではないかと意見をいただきました。ただ、私は大仙市消防団の副団長という立場もありますので、委員の皆さんに消防団のことをもう少し分かっていただきたいとおもひまして、少しお話をさせていただきます。昔は、地域にたくさん人がいて消防団員も定数いっぱいまで空きを待っているということもありました。現在は、全国的にもかなりの数が不足しています。ここで皆さんに知ってもらいたいのは、消防団員は火災の時だけ活躍するのではないということです。7月の豪雨災害の時は水防団として活躍しましたし、山で遭難者がいるときは捜索隊として活動します。地元で消防団員がいなければ、土地勘もありませんし、何日も活動しなければいけないときは交代要員がないということで、継続しての活動が困難になります。

私ここで言いたいのは、皆さんにどうかして欲しいというわけではなくて、それぞれの地域に戻られたとき、消防団はこういうことをしていなければ困るんだということを知らせていただきたいと思います。消防団員も高齢化が進んでおりますので、地域に消防団員が必要だということを訴えていただきたいと思います。

○藤林委員

前回ゴミカレンダーのお話がありましたけれど、現在市で出されているゴミカレンダーはちょっと分かりづらいといいますか、良く近所のお年寄りが家に今日は燃えないゴミの日だったかなど確認にきます。また、小学校でアルミ缶を回収していて、それをお金に換えて様々な活動を行っています。そういうちょっとした情報もカレンダーに載せていただきたいと思います。社協さんで作成しているゴミカレンダーはとても分かりやすいので、お年寄りだけでは地域にも配布していただければいいのではないかと思います。

○武藤委員

高齢者が楽しめるイベントとなると、資料の方にもありますがほとんど地域予算を活用した事業がほとんどです。ですので、委員が幾つかに分かれてグループを作って、その事業

に参加し、内容の検証を行っていくべきだと思います。中仙地域で行われているドンパンまつりやジャンボウさぎフェスティバルなど、たくさんの方が集まります。どうしてあんなに人が集まるかということも考えながら、西仙北でも活かせればよろしいかと思います。

また、人集めの方法ですが広報やチラシ等でお知らせしても、それらを見ていなくてイベントの存在を知らないというのが大半だと思います。一番効果があるのは、宣伝カーではないですけど、直接地域に来てお知らせしていただければもっとたくさんの方がそれを知ることができると思います。

また、自治会の要望活動については市の対応が遅いということが言えます。市に要望しても2年くらいほったらかしにされるというケースがありますので、迅速に対応していただきたいと思います。

○会長

ありがとうございました。私が最後に私から意見を申し上げたいと思います。多くの委員の方からイベントについてお話がありました。私は、今後開催されるイベント事業に委員の皆さんに参加してもらい、それについての感想や意見を述べてもらうということをやってみたらいいのではないかと思います。これから来年の3月まで各地区で様々なイベント等が開催されますので、それに参加してそれぞれのご意見をいただきたいと思います。

○佐々木好美委員

まずは、各地域でどのようなイベントが行われているということ把握し、そして主催者とコンタクトを取って、協議会委員としてどのような役割があるかということをお話し合うということが大事だと思います。ただ、イベントを見るだけのオブザーバー的役割ではなくて、委員本人も役割を持つということが必要だと思います。また、イベントの参加者を増やす取り組みも担っていかなければならないと思います。

また、ゴミカレンダーについては予算を伴うことですので、市の当局とも話し合いをおこなっていかなければいけません。地域住民にとってはメリットになりますので、今後考えていかなければいけないことだと思います。

HUBスペースですが、私が刈和野小学校の野球部の監督をしていて、全県大会に出場したときの写真がたくさんあります。その写真をHUBスペースに展示すれば、当時を懐かしんで、地元の方がたくさんHUBスペースに集まるのではないかと考えています。昭和52年ですから約40年前ですが、八橋球場の応援席がアップで写されている写真があります。それには現在亡くなっている方もいますけれど、懐かしい顔ばかり写っています。今高齢になっている当時若い方もたくさん写っています。ですから昔も懐かしんで多くのお年寄りも来てもらえるのではないかと思います。また、当時の新聞記事もございますので、併せて展示をしていただければと思います。

○会長

今佐々木委員さんから今できることと、来年度以降取り組むべきことについてご意見をい

いただきました。今取り組めることというのは、先程私もお話ししましたがイベントに実際参加して、それについて感想や意見を述べて次に繋げていくということと、HUBスペースに写真を展示するという事です。まずは、できることからやるとうことで佐々木委員から写真をお借りして写真展をやるということで、皆さんいかがでしょうか。

【異議なしの声】

○会長

それでは、佐々木委員には大変難儀をおかけしますが、HUBスペースで昔の写真展を行いたいと思います。その他の委員の皆さんも展示できる写真とか絵画等ございましたらご協力をいただけたらと思います。

○佐々木好美委員

その他に、イベントへの参加について各委員から意見が出されていますので、誰がどのイベントに参加するかということを絞ってみてはいかがでしょうか。そうしないと、我々委員もどのイベントに出たら良いか分からないですし。

○会長

委員の皆さん全員というわけは、いかないと思います。それぞれの都合もございますので。

○事務局新田

私からよろしいでしょうか。次回の協議会まで行われる予定のイベント、事業を事務局でまとめて、皆さんに後日送らせていただきます。その中から皆さんが参加可能なイベントに出席していただいて、そのご意見、ご感想を次の協議会で発表いただくというのはいかがでしょうか。

○会長

という事務局からの提案がありましたがいかがでしょうか。

○池田委員

私もそれでよろしいかと思えます。例えば10月にはにしせんぼく文化祭が中央公民館で行われます。そこでは様々な展示や、芸能発表、そして地域の方々による出店等が行われます。それに関して、外部からの意見を取り入れてより良い事業になっていってほしいと思います。

○会長

それでは事務局の方で9月～10月に行われるイベントをピックアップして委員の皆さんにお知らせいただきたいと思えますのでよろしく願います。

○館長

これをもちまして第4回西仙北地域協議会を終了します。長時間にわたりお疲れ様でした。

(11時30分 閉会)

西仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

信田 徹

田口 繁
